

実績の内容	成果の内容
<p>地域指向型教育の実践</p> <p>地域体験授業を基本としたPBLによる『教養ゼミ(必須科目)』、地域で活躍する地域人材を招聘する『特別講座(選択・座学)』、地域の優れた取り組みを現場で学ぶ『地域志向インターンシップ(選択・フィールド学習)』など、COC関連科目(選択科目)を行政・地域とともに継続して実施した。</p> <p>『教養ゼミ』は、連携自治体・地域と連携して体験学習の現地プログラム作成し、学生へのオリエンテーション、事前学習、現地体験授業、事後学習、発表会のプレゼンテーション準備、学生発表会の開催、及び活動報告書の作成などを計画的に実施した。</p> <p>『特別講座』は、地域政策や地域経済で優れた取り組みを行っている地域・行政・企業から講師を招聘した。このプログラムは、公開講座として一般市民へ提供した。</p> <p>『インターンシップ』は、連携自治体・連携地域と学生の意向を踏まえて受入場所・日程・内容・地域・実施方法等を設定し、学生が主体的に研修内容に関わりながら、計画的にインターンシップを実施した。</p>	<p>地域志向型教育の内容を深めるとともに、それを実践するカリキュラム・コースの充実を図った。教養ゼミの体験学習から始まる3段階の履修(地域を知る、地域と関わる、地域と協働する)が本格化した今年度、広島県中山間地域・島しょ部において、地域住民及び社会がいかなる課題に直面し、解決に向けた努力をしているかを学んだ。食料生産に関わり専門教育においてより深い専門を学びながら、地域課題についても取り組みたいと考える学生が増えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養ゼミPBL授業実施総コマ数=73 ・地域志向インターンシップ参加学生数=28、学生総活動日数=109泊137 ・特別講座(地域講師)開催コマ数=7 ・外部講師総数=37、外部指導者総数=150以上(連携地域・市町等) ・教養ゼミ体験授業に参加した学生の満足度 96% ・地(知)の拠点活動は自律

	<p>的な学生の育成になると思 った教養ゼミ担当教員の割 合 96%</p> <p>・教養ゼミ体験授業を好評価 した連携地域・市町の割合 79%</p> <p>・インターンシップを好評価し た連携地域・市町の割合 9 4%</p>
<p>研究活動</p> <p>連携地域・市町の地域課題を対象とした「地域志向 教育研究事業」は、引き続き本年度の事業を実施し、 地域の課題解決につなげる提案を行った。</p> <p>また、地域を課題とした学生卒論の発表会を、地域 の要請に基づいて開催した。</p>	<p>・連携市町・地域との地域課 題研究取り組み数=1</p> <p>・地域での学生の卒論発表 数=2</p>
<p>社会貢献活動</p> <p>「ひろしまイニシアティブ」の実現に向けた教育・研究 活動の成果を多様な方法で発表した。</p> <p>また、中山間地域・島しょ部対策領域においては、地 域指向型教育の実践について大学・学生と市町・地域 の関係者が一堂に会して成果の共有や課題・改善点 について議論する「円卓フォーラム」を引き続き開催し た。</p>	<p>・円卓フォーラム開催数=1</p> <p>・COC・学生コラボマルシェ =1</p> <p>・地方創生人材育成をテーマ とした学会開催と発表=1</p> <p>・東北被災県議会と学生の 地方創生人材育成ワークシ ョップ開催=1</p> <p>・地域青年会議所でCOC活 動講演=1</p> <p>・内閣官房まち・ひと・しごと 地方創生本部へのCOC活 動意見交換情報提供=1</p>
<p>実施体制【マネジメント】</p> <p>COC活動の「PDCAサイクル」を実践し、総合的なCO Cマネジメントを的確に行うため、関係幹部で構成する COC-WG、教務委員会、教養ゼミ等COC科目担当 教員会議などを随時開催した。</p>	<p>・COC-WG、教務委員会、 教養ゼミ等COC科目担当教 員会議の開催=各2</p>
<p>実施体制【自己診断、外部評価、分析、公表】</p>	<p>各活動実施後には必ずア</p>

<p>実施する活動について、学生、教員、地域・市町への大学独自アンケートをもとに自己診断を行った。中山間地域・島しょ部対策領域において実施する円卓フォーラム等の機会を活用し、学生や地域・市町の声を踏まえて総合的な外部評価を行った。各種アンケート調査の結果は、分析してCOC-HPで公表するとともに、次年度の改善につなげた。この結果は、COC関連科目のシラバスにも反映させるとともに、教員等へのフィードバックを行った。</p>	<p>アンケートを実施し、活動内容の評価と意見、及び改善点の指摘を求めている。アンケート回答率は、参加者ほぼ全員の100%に近い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生、教員、地域、市町への大学独自アンケート(COC評価) = 各1回 ・円卓フォーラムによる、学生・地域・市町のCOC活動評価 = 1 ・HPに公表した各種アンケートの数 = 5
<p>実施体制【地域・市町との連携強化】 連携地域・市町との関係性を一層高め、関係機関からの人的・物的支援がさらに得られ、継続的に地域志向教育等が展開できるように、様々な連携活動を展開した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの宿泊費支援(補助) ・COC 教育研究活動への人的支援